

2021年度公益財団法人原爆の図丸木美術館事業報告書

1. 公益目的事業

(1) 常設展示

「原爆の図」をはじめとする丸木位里・俊夫妻による共同制作、丸木スマの絵画を随時展示

(2) 企画展

- a) 「金原寿浩 海の声」4月17日～7月11日
- b) 「特別企画 藤井光 爆撃の記録」5月1日～6月13日
- c) 「白川昌生 ここが地獄か、極楽か」7月17日～9月5日
- d) 「特別企画 菊田真奈 手についた焦げ跡にふうっと息を吹いて飛ばす」
7月31日～9月30日
- e) 「大垣美穂子 Milky Way before the beginning – after the end 2021」
9月11日～10月24日
- f) 「生誕120年丸木位里展 実験の軌跡をたどる」10月30日～2022年2月27日
- g) 「特別公開 大逆事件」10月28日～2022年1月30日
- h) 「特別展示 生誕110年丸木俊展 人間を描く」2月11日～4月10日
- i) 「李晶玉 SIMULATED WINDOW」3月11日～4月10日

(3) 講座・講演

- a) 開館記念日 5月5日 オンライン配信「原爆の図」作品解説
- b) ひろしま忌 8月6日
オンライン配信「広島から今日、そして未来へ～核の時代に考える命と芸術」

(4) 美術・工作教室

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催せず

(5) 広報活動

機関誌として「原爆の図丸木美術館ニュース」を年間4回発行

(6) 情報交換・広報協力

活動を広く知らせるため、随時、美術・文化団体や平和団体と連絡・協調を行った

2. 収益事業

(1) 収蔵絵画及びその画像資料の賃貸

- a) ベルナル・ビュフェ美術館「わしゃ、今が花よ 70歳で開花した絵心 丸木スマ展」
4月24日～9月28日 丸木スマ《母猫》《にわとり》など68点
- b) 東京都美術館「Everyday Life:わたしは生まれなおしている」11月17日～2022年1月6日
丸木スマ《簪》《柿もぎ》《やさい》《ピカるとき》など11点
- c) 広島市立大学芸術資料館「日本画制作の現場V丸木位里・丸木俊展」10月26日～11月10日
原爆の図《火》、位里作品11点、俊作品20点

(2) 物品販売

丸木俊の絵を使用したカレンダーを新たに制作・販売した

(3) その他の事業

2階展示室にてスペースの貸出を行った

※事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告附属明細書は作成しなかった